

令和7年12月18日
四国地方整備局

令和7年度インフラDX大賞四国地方整備局長表彰を発表！ ～建設現場で革新的な取り組みを行った企業を表彰します～

四国地方整備局では、魅力ある建設現場を目指し、革新的技術の活用等により建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を含めたインフラ分野のDXを推進しています。

昨日(12月17日)、「令和7年度 インフラDX大賞」の受賞者として、計33団体(国土交通大臣賞4団体、優秀賞27団体、スタートアップ奨励賞2団体)を決定した旨の発表がありました。

四国地域からは、受賞者として優秀賞2団体が選定されています。

- 優秀賞(工事・業務部門) : 有限会社礒部組
- 優秀賞(地方公共団体等の取組部門) : 徳島県

さらに、この度、四国地方整備局において、インフラ分野のDXに係る優れた取り組みを行った企業を「令和7年度インフラDX大賞四国地方整備局長表彰」とし、受賞者を決定しましたので、次のとおりお知らせいたします。

■四国地方整備局長表彰

○受賞者

- ・東亜建設工業株式会社四国支店
- ・株式会社IHIインフラシステム四国支店

○表彰式

- ・日時 : 令和8年2月2日(月) 14:00～(1時間程度)
- ・開催方式 : 基本対面方式(一部WEB方式) サンポート合同庁舎13階 1307会議室

※「インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰」については「別紙-1」を、受賞者一覧及び取組概要は「別紙-2」をご参照下さい。

<取材申し込みについて>

- ・取材を希望される場合は、令和8年1月30日(金)15時までに、「別紙-3」取材申込書を記入の上、下記メールアドレスまでお申し込みください。
申込書送付先メールアドレス : icon-s88ok@mlit.go.jp
- ・表彰式終了後、取材対応を行います。

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」の取り組みに該当します。

<問い合わせ先> ○主たる問い合わせ先
国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術調整管理官

○ 施工企画課

たなべ もりひで
田邊 守英
みぞぶち てるお
溝渕 輝夫、課長補佐 まつしま あきひろ
松島 章公

TEL:087-811-8312(施工企画課直通)

○ 建設現場の生産性向上「i-Construction」を含めたインフラ分野のDXに係る優れた取り組みを表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、インフラ分野のDXに係る取り組みを推進することを目的に、平成29年度に国土交通大臣賞として創設された「i-Construction大賞」以外の取組のうち、他の参考となる優良な取組を表彰するものとして令和3年度に「i-Construction大賞四国地方整備局長表彰」を創設。

なお、令和4年度にこの取り組みをさらに拡大し「インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰」へ名称変更。

○ 四国地方整備局が発注する工事、業務において、総合評価にて加点するインセンティブを付与。

■ 対象及び選考

前年度に完成した工事及び完了した業務のうち、四国地方整備局に設置した幹事会により表彰案件を選考

■ 選考基準

取組内容が、「有効性」「波及性」「先進性」の観点から優れ、かつ「主体的」に取り組まれているものを総合的に評価
 なお、波及性の観点について重視し選考

■ 概略スケジュール

- ・ 6月上旬～中旬 : 対象案件の選考
- ・ 8月中旬～9月上旬 : 幹事会にて審議
- ・ 9月中旬 : 国土交通本省へ推薦
- ・ 11月上旬頃 : インフラDX大賞選考委員会にて審議
- ・ 12月上旬～中旬 : 表彰団体発表
- ・ 1月中旬～2月上旬 : 表彰式

■ 過去の受賞者一覧

年度	表彰の種類	業者名	工事／業務名
R6	工事・業務部門 国土交通大臣賞※	福留開発(株)	令和4～5年度 仁淀川中島地区下流護岸外(その1)工事
R6	四国地方整備局長表彰	中幸建設(有)	令和3～4年度 原ヶ崎地区耐震対策工事
R6	四国地方整備局長表彰	東洋建設(株)四国支店	徳島小松島港金磯地区岸壁(-11m)改良工事
R5	工事・業務部門 優秀賞※	東洋建設(株)四国支店	高松港朝日地区岸壁(-7.5m)船尾部築造工事(その2)
R5	四国地方整備局長表彰	(株)H インフラ建設	令和3～4年度 南国安芸道路茨西高架橋上部工事
R5	四国地方整備局長表彰	中央復建コンサルタンツ(株)	令和3～4年度 北井門高架橋外詳細設計業務
R4	工事・業務部門 優秀賞※	りんかい日産建設(株)四国支店	高松港朝日地区航路(-12m)浚渫工事
R4	四国地方整備局長表彰	川田工業(株)	令和2～3年度 外環空港線洗地川橋(上り)上部工事
R4	四国地方整備局長表彰	入交建設(株)	令和2～3年度 南国安芸道路赤野橋下部外工事

※国土交通本省のインフラDX大賞として表彰

○優秀賞(工事・業務部門) 受賞者

業者名	工事名
有限会社礪部組	国道493号(北川道路・柏木2号橋下部工)道路改築工事

○優秀賞(地方公共団体等の取組部門) 受賞者

団体名	取組名
徳島県	CIMによる排水機場維持管理の効率化

○四国地方整備局長表彰 受賞者

業者名	工事名
東亜建設工業株式会社四国支店	高松港朝日地区岸壁(-7.5m)船尾部築造工事
株式会社IHIインフラシステム四国支店	令和5-6年度外環空港線南吉田第5高架橋上部工事

高松港朝日地区岸壁(-7.5m)船尾部築造工事

四国地方整備局長表彰

推薦者	四国地方整備局
発注者	四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所
業者名	東亜建設工業(株) 四国支店
工期	2023年5月18日～2024年7月31日
施工場所	香川県高松市
請負金額	622,050,000円

【取組概要】

本工事では、フェリー等が着岸時に使用する船尾部の護岸を施工した。本護岸の上部工は、フラットスラブ構造であり、大口径かつ非常に密な配筋のためコンクリートの充填、締固めをムラなく行う事が難しい。また、常時複数の重機を使用した施工であるため、施工管理の効率化及び安全管理が求められた。

これに対し、「AR締固め管理システム」や、「自動散水システム」によるコンクリートの品質確保の取組みや、デジタルデータとCIMモデルを連携したデジタルツインによるコンクリート打設時の施工管理の効率化を図るとともに「AR配筋確認システム」や「AIを使用した危険予知(KY)活動支援システム」を導入し、安全確保と作業効率の向上に取り組んだ。

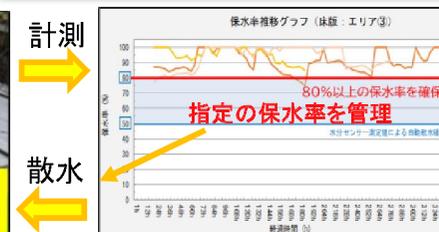
これらの取り組みの結果、品質、作業効率、安全性が格段に向上し、管理業務全般の高度化・生産性(効率)の向上を実現した。



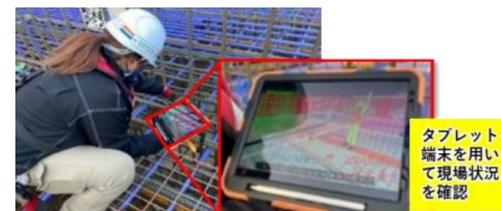
AR締固め管理システム



自動散水システム



AR配筋確認システム



↑ デジタルツインデータを現場で確認

← デジタルツインによりすべてのデータを一括管理



AIを使用した危険予知(KY)活動支援システム

- 「AR締固め管理システム」により、締固め箇所や締固め状況を視覚化し、密な配筋部へのムラのないコンクリート充填、締固めを実現。また、指定の保水率を管理可能な「自動散水システム」は、高品質なコンクリート養生とともに、作業員による散水作業の削減を実現。両システムを活用することで、品質及び作業効率を向上(約1.3倍)。
- 「AR配筋確認システム」により、モバイル端末の画面上にCIMモデルを重畳表示することで、配筋確認を一目瞭然とした。確認時間の短縮とともにミスを防止し、品質及び作業効率が向上(約1.1倍)。
- 「AIを使用した危険予知(KY)活動支援システム」により、作業内容を入力するだけで、様々な労働災害事例をAIが提示。より現場に即した労働災害事例を活用した安全教育が行える事で、安全性が向上。

令和5-6年度 外環空港線南吉田第5高架橋上部工事

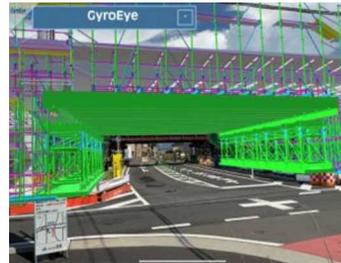
推薦者	四国地方整備局
発注者	四国地方整備局 松山河川国道事務所
業者名	(株) I H I インフラシステム 四国支店
工期	2024年4月1日～2025年3月31日
施工場所	愛媛県松山市
請負金額	358,314,000円

【取組概要】

隣接するランプ橋や平面街路に囲まれた狭いヤードで施工を行う本橋は、施工の高度化ならびに多くの知識を必要とする工事で、現地状況を反映した支保工の選定や交通規制計画、出来形管理の高精度化や省人化、ベテラン技能者の暗黙知の活用が重要な課題となった。そこで、以下の取組みを行った。

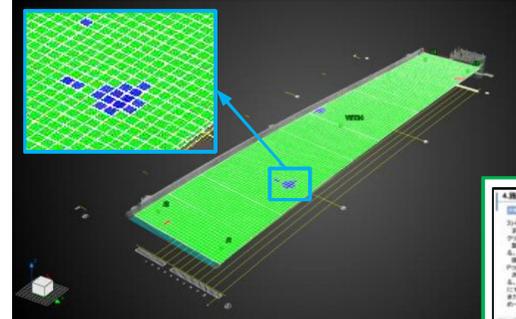
- ①3DモデルのMR重畳による支保工取り合い確認と合意形成
- ②ICT技術を活用した点群計測による橋面の出来形管理
- ③4Dタイムライナーを活用した技術伝承ツール

①3DモデルのMR重畳



干渉を回避した支保工形状変更・関係各所との事前のイメージ共有が可能
【波及性】経験の浅い作業員等でも、活躍できる工種を拡大

②点群計測による橋面の出来形管理



橋面天端全体の座標を取得し、管理値との差を識別表示可能
【波及性】出来形管理を高精度化・省人化

③4Dタイムライナーによる技術伝承ツール

文字バルーンのクリックにより資料画面がポップアップする

円筒型枠災害事例

上床板鉄筋組立

下床板スターラップ鉄筋組立

PC鋼管の線挿入

型枠組立

円筒型枠挿入据え付け

シーズ定

災害事例 クレーン (鉄筋)

災害事例 クレーン

ベテラン技能者の暗黙知を形式知に変換し、若手・外国人技能者に技術を伝承
【波及性】若手・外国人技能者がこれまで以上に安全で活躍できる場を創出

- ①は、施工をデジタル化して現地に重ねて直接目視する先進性の高い取組みにより、隣接工事ヤードとの干渉を回避した支保工への形状変更，関係各所とのイメージ共有，実施工前の状況把握に寄与し，施工の高度化・効率化を達成。経験の浅い作業員等でも活躍できる工種を拡大可能な波及性の高い取組み。
- ②は、座標情報から橋面の凹凸や傾斜を高精度に取得し、管理値との比較を自動化できる先進性の高い取組みにより、計測人工を50%効率化（従来：2人工⇒本取組み：1人工）、計測精度を向上（従来：端部・支間中央の3断面⇒本取組み：橋面全体）。出来形管理を高精度化・省人化できる波及性の高い取組み。
- ③は、施工の勘所を誰もが閲覧可能な先進性の高い取組みにより、ベテラン技能者の暗黙知を形式知に変換し、若手・外国人技能者への技術伝承で施工の効率化と無事故・無災害を達成。様々な工種の施工方法や災害事例を伝承でき、若手・外国人技能者がこれまで以上に安全で活躍できる場を創出する波及性の高い取組み。

国道493号(北川道路・柏木2号橋下部工)道路改築工事

推薦者	四国地方整備局、高知県
発注者	高知県 安芸土木事務所
業者名	有限会社 磯部組
工期	2024年8月7日～2025年3月17日
施工場所	高知県安芸郡北川村柏木
請負金額	82,665,000円

【取組概要】

高規格道路の橋台、護岸（工事用道路含む）工事において、河川内作業が渇水期の4ヶ月間に限定され、ダム放流、近接工事（対岸橋台、橋脚）との工程調整、作業の効率化、安全性、環境への配慮が課題であった。

この対策として、完全内製化したICT活用による生産性向上やBIM/CIM活用（4Dシミュレーション）、デジタルによる視覚効果を活かした取り組み（3Dモデル作成、VR活用）、CCPMを用いた工程管理により、工事全体を最適化し、課題を解決。

また、担い手確保に向けて、教育機関と連携し地元高校の出前授業（ドローン測量、3D設計モデルやVR体験など）で建設業の魅力を発信。



①完全内製化による全面的なICTの導入

橋台下部工及び擁壁工にICTを導入し、完全内製化による3次元起工測量と3次元出来形管理で現場の生産性を向上。

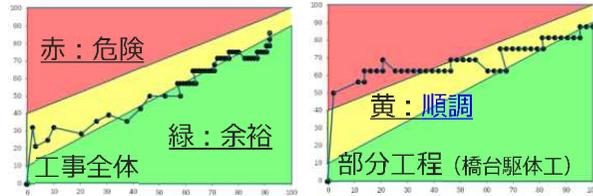
導入効果（従来工法と比較） 単位：人・日

項目	工種	ICT導入	従来
起工測量	準備工	0.5	6.5
出来形管理	橋台工	0.5	4.0
	擁壁工	0.2	0.6

出来ばえ評価 (橋台躯体)

②アプリケーションを用いた工事進捗の見える化

CCPM (クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント) により工程を計画し、アプリケーションで工事全体と部分工程の進捗を見える化。進捗をリアルタイムで現場共有し、ムダ無く正確な工程管理を実施。



③VR体験による4Dシミュレーション

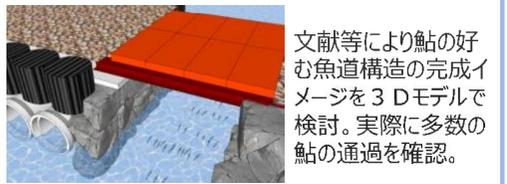
橋台のBIM/CIMモデルを作成し、ゲームエンジンベースにした施工ステップのVR体験をコンクリート打設方法の検討や安全訓練に活用。



★建設業の魅力発信にも活用



④3Dモデルによる仮設工の検討



- ICT活用と完全内製化により、従来工法と比べて約9割の省人化を実現。(11.1人・日⇒1.2人・日)
- CCPMの導入により工程が見える化・共有し、作業間の工程ロスを削減。(作業期間の1割の余裕を創出)
- 橋台形状と配筋構造のBIM/CIMモデル(詳細度500)を作成することで、コンクリートの充填不良や初期欠陥が起こる可能性の高い部位を打設前に特定し、作業の手戻りと初期欠陥を防止。(品質向上)
- ゲームエンジンをベースにした施工ステップのVR技術を活用した4Dシミュレーションは、現場経験の浅い作業員でも現場イメージを正確に獲得することができ、施工の段取りや安全意識の向上に有効。(若者活躍、安全性向上)

CIMによる排水機場維持管理の効率化

優秀賞(地方公共団体等の取組部門)

推薦整備局等	四国地方整備局
地方公共団体名	徳島県
取組主体	徳島県

【取組概要】

徳島県では管理するインフラ施設数が多く、今後、高度成長期に建設した施設の老朽化が加速度的に進行する見込みであるため、効率的な維持管理が求められている。

特に排水機場の維持管理には機械類の知識を要するため、初めて排水機場を担当する職員は施設全体を把握するまでに時間を要している。また、施設の更新・修繕情報を一元的に管理できるシステムが無いため、職員が過去の資料を基に施設の更新計画を立案する必要がある。

本取組では、県が管理する主要な排水機場を3次元モデル化し、施設構造物と維持管理情報を連携させることで視覚的・一元的に把握できる体系を構築。職員自らが属性情報を付与することで、3次元モデルを台帳として活用し、職員のスキルアップや業務の効率化に資する取組である。

また、360度カメラで排水機場施設を撮影することにより、効率的に施設状況を把握することを実現。

3次元モデル

選択した項目が3次元モデル上に着色されて表示

【活用例】
 該当箇所の図面及び写真を属性情報として付与。さらに、点検により判明した不具合箇所を図面及び写真に明記

360度カメラ

平面図と360度カメラで向いている方向が連動

- 必要な情報を探す作業に数日要する場合があります、管理に必要な情報を3次元モデルに属性情報として付与することで施設情報を即座に把握することを実現し、大幅な時間短縮による職員の業務効率化に寄与。また、災害時に360度カメラの活用により、不可視箇所を把握できるようになり、安全かつ迅速に不測事態への対処可能となった。
- 3次元モデルと360度カメラを用いることで、不足する施設情報を補完できるため、現場に出向くことなく即座に状況把握が可能となる。現場までの移動時間を削減でき、施工管理のオートメーション化に資する取り組み。
- 他の自治体においても導入ハードルは低く、職員が直営で属性情報を付与できるため、波及性が大きい取り組み。

令和7年度 インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰式 取材申込書

必要事項を記載の上、1月30日15時までに事前申し込みをお願いします。

申込先 : 四国地方整備局 企画部 施工企画課 宛

申込方法 : (メール) icon-s88ok@mlit.go.jp

報道機関名 ※必須	
ご連絡先(TEL) ※必須	
ご連絡先(メールアドレス) ※必須	
お名前 ※必須	
人数(代表者含む) ※必須	人
連絡事項等	

<留意事項>

- ・表彰式終了後、取材対応を行います。